

施工業者様用〈施工説明書〉

集成ピノアース階段 鼻の出0mm仕様

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

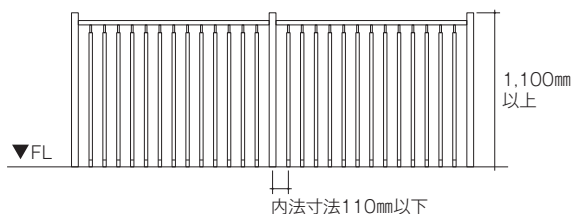
施工に際して以下の警告・注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



警告!

- 躯体の強度を確保してください。
階段が取り付け位置には、十分な強度のある柱・間柱・胴縁や梁・大引などの下地があることを確認してください。
- 子柱は、子供がすり抜けないように踏板で使用する場合は2本、2階ホール等に使用する場合は内法110mm以下で取り付けてください。
- 2階ホールの手すりの高さは1,100mm以上としてください。

■2階ホールなど



■階段部分



- 指定の固定方法で取り付けてください。
- 指定の下穴をあけてご使用ください。
- 取り付け後にガタツキ、緩み、ビスの締め忘れがないか確認してください。
- 万が一ガタツキ、ヒビなどの不具合を発見した場合は、直ちに使用をやめて取付業者または販売店にご連絡ください。



注意!

- 屋外や、浴室などの湿度が高い場所にはご使用できません。
- 開梱後は換気を行ってください。本製品は、ホルムアルデヒド・VOC（揮発性有機化合物）対策品ですが、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすいため、換気を行うようにしてください。
- 階段の勾配が45°を超える場合は、手すりを両側に取り付けてください。
- 手すりは踏面から750~800mmの高さに取り付けください。
- 手すりは連続して取り付けください。

お願い 安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

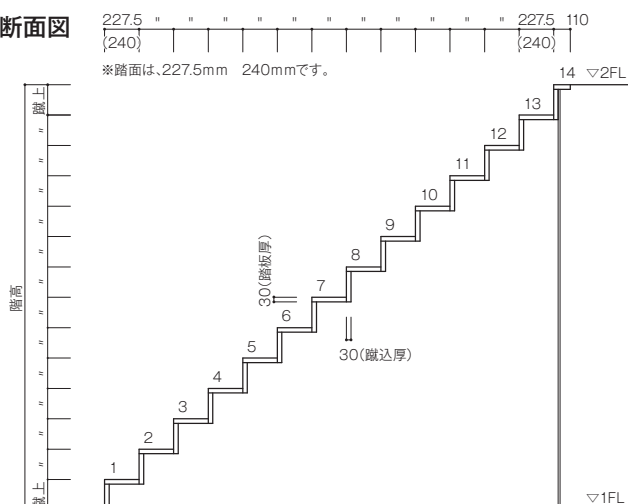
- ・下穴はネジ径の80~85%を目安としてください。
- ・ポリウレタン系接着剤（別売）を少量充填しておくことも緩み止めに効果があります。
- ・手すりの接続、手すり親柱・子柱との接続、手すり親柱・子柱の躯体との接続は、ポリウレタン系接着剤（別売）を使用して強固に取り付けてください。



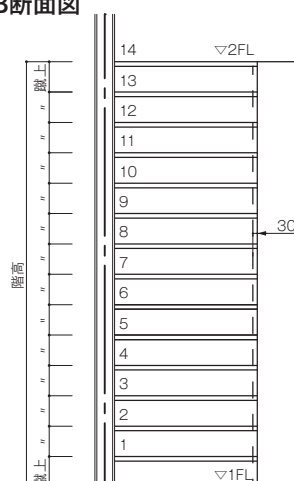
標準納図

●直階段（片側ひな段納め）

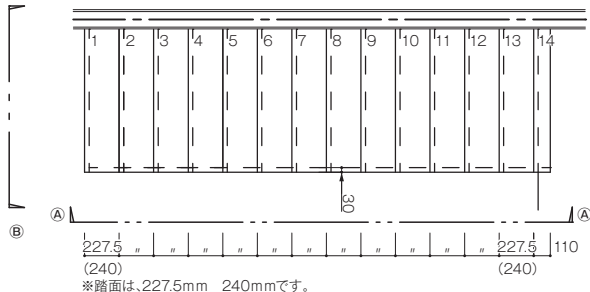
A-A断面図



B-B断面図



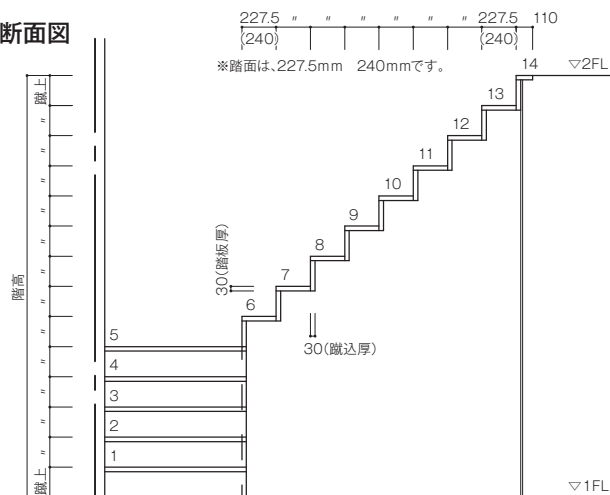
平面図 ⑥



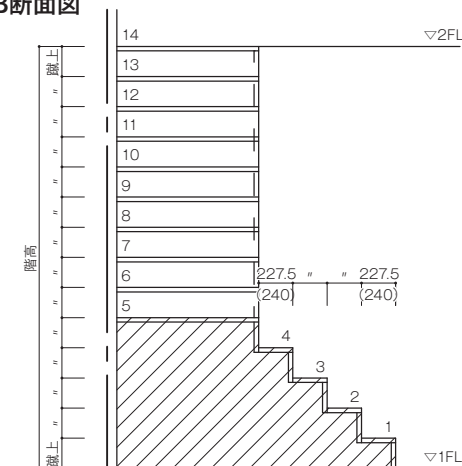
※鼻出0階段は、規格型階段です。
※踏面は、227.5mmと240mmの2種類です。
※階段のパターンは、「直階段」と踊場を入れた「折曲階段」です。

●折曲階段（直+踊場+直、片側ひな段納め）

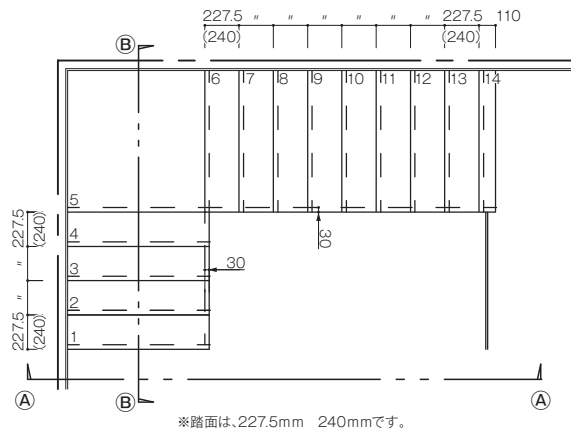
A-A断面図



B-B断面図



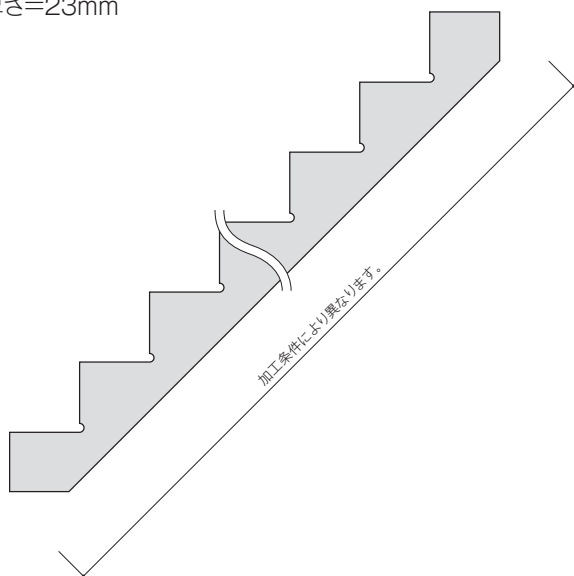
平面図



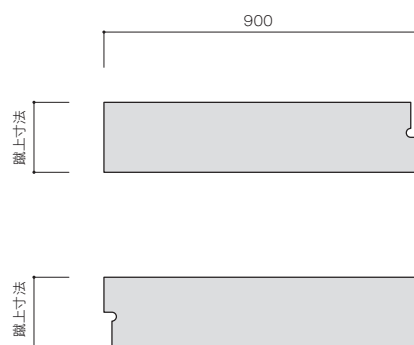
※鼻出0階段は、規格型階段です。
※踏面は、227.5mmと240mmの2種類です。
※階段のパターンは、「直階段」と踊場を入れた「折曲階段」です。
※折曲階段は、踏面寸法での架幅調整が出来ないため
踏板、蹴込板及び踊場の壁面側をカットして調整してください。
(手すりを設置される場合は、階段有効幅750mm以上であるか
ご確認の上、カット寸法を決めてください。)

部材図

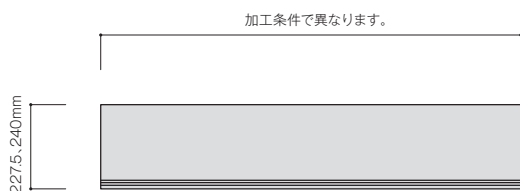
●直受台 厚さ=23mm



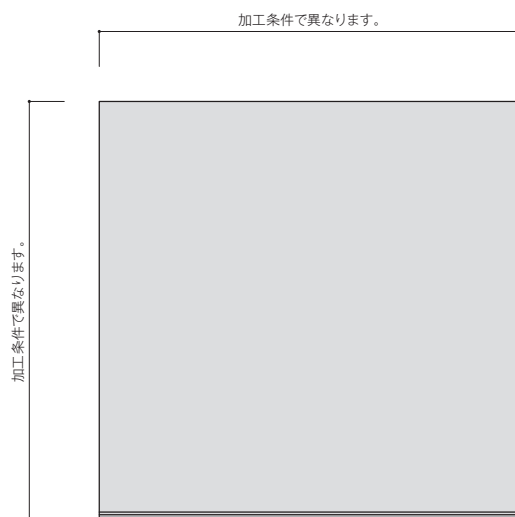
●廻り受台 厚さ=23mm



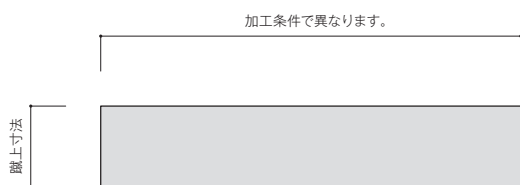
●踏板(6面化粧) 厚さ=30mm



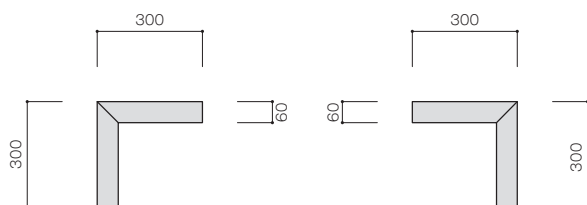
●踊場(6面化粧) 厚さ=30mm



●蹴込板(6面化粧) 厚さ=30mm

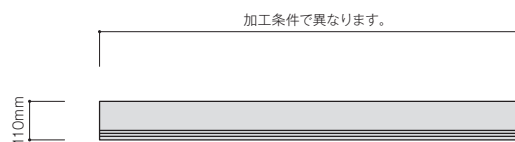


●直踏板用巾木 厚さ=9mm

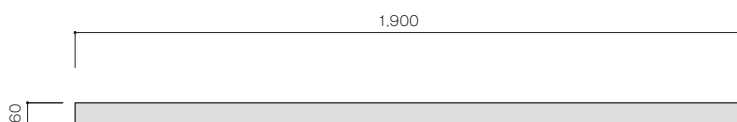


※踏面、蹴上に合わせて現場加工してください。

●上段框(6面化粧) 厚さ=30mm

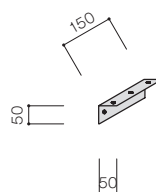


●踊場用巾木 厚さ=9mm



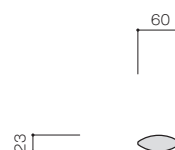
※踏面、蹴上に合わせて現場加工してください。
※トメ加工等の加工は現場に合わせて行ってください。

●踏板固定金具



※踏板1枚に3個、
踊場に5個がセットになります。

●ビスケット 厚み=4mm



※踏板1枚に3枚、
踊場には使用しません。

施工

本施工説明書の施工手順は、標準納図 折曲階段「直階段-踊場(90度)-直階段」です。
直階段では、踊場の設置はありませんが、基本的な手順の参考にしてください。

手 順

1

廻り受台（踊場）と直受台の取付位置の墨出し

- ・納品された商品を開梱し、材料の樹種・色・加工内容などに相違がないかを確認してください。
- ・踏面、蹴上寸法の確認後、踏面や蹴込板の厚みを考慮して墨出しを行なってください。
- ・鼻出O階段は踏板と踊場の取合い、ひな壇側の壁仕上り面が基準となります。
踏板と蹴込板がきれいに連続するような配置にて納まりを決めてください。

手 順

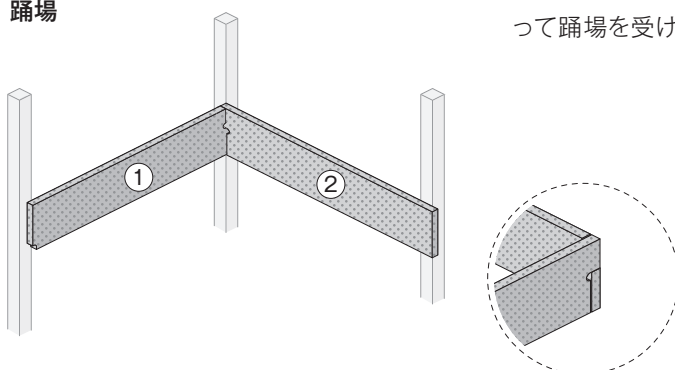
2

廻り受台（踊場）の取付

廻り受台を使用する場合

- ・墨出し位置に従い、受台を躯体(柱・間柱)へ固定します。
- ・入隅部分を基準として直階段との連結位置を確認します。直階段との連結位置によっては、廻り受台をカットしてご使用ください。
- ・軸柱部分は、躯体からの持ち出しで柱、梁で下地を組むほか、間柱などを使って踊場を受けるための下地をつくってください。

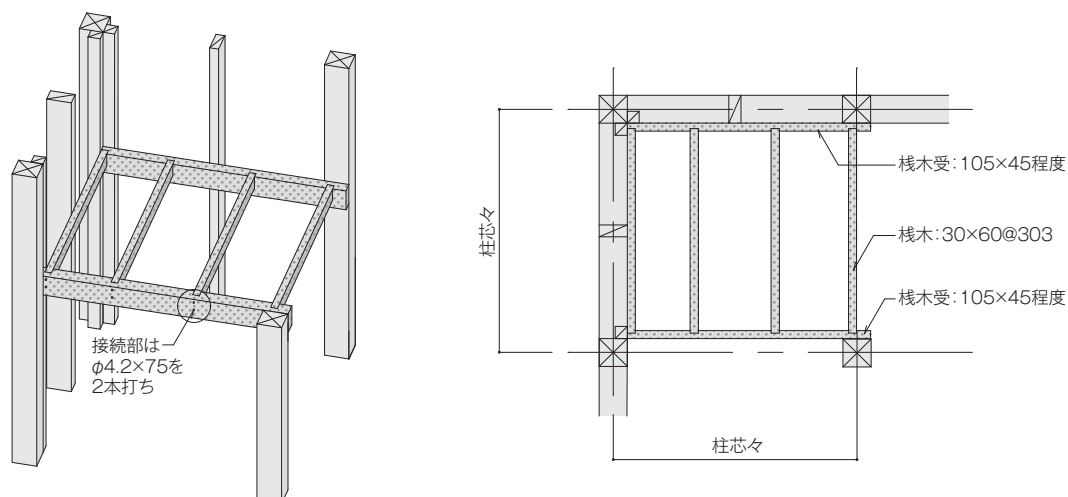
踊場



廻り受台（踊場）を使用しない場合

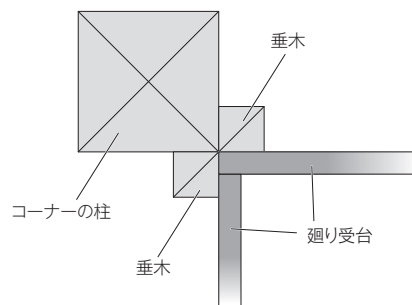
廻り受台（踊場）を使用しない場合は、栈木（現場調達）にて施工してください。

踊場踏板受け用栈木施工参考図



コーナー部分の廻り受台の取付について

入隅部分は廻り受台（踊場）を固定するために36mm角以上の垂木を現場手配にてご用意いただき、図のように取付をしてください。

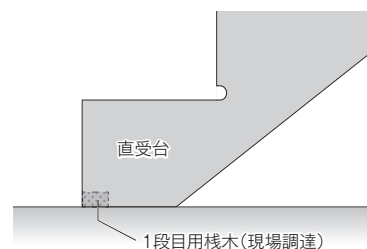


手 順

3

直受台の取付

- ・直受台を躯体へ固定します。
- ・1段目端部は蹴上寸法を確認して現場加工、受台上端部は、廻り受台の取付状況に応じて、現場加工をお願い致します。
- ・1段目には蹴込板受け浅木（現場調達）を取り付けてください。

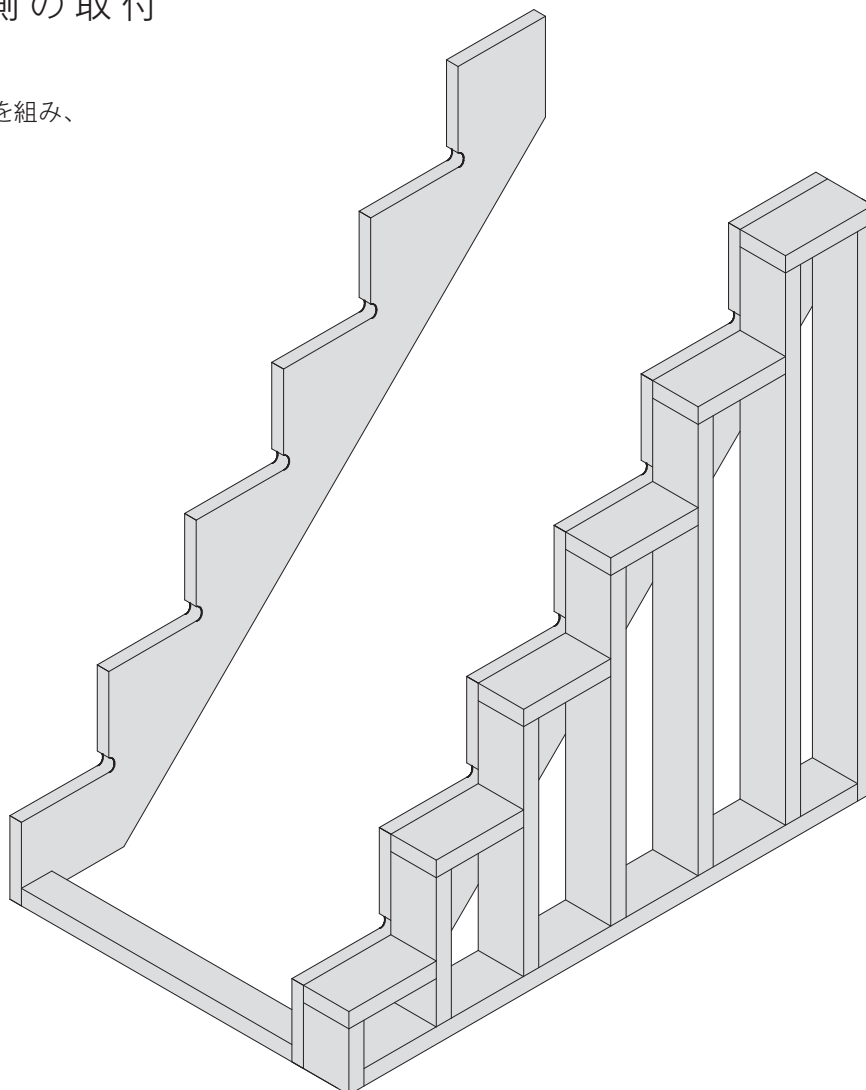


手 順

4

直受台ひな壇側の取付

間柱などで図のような下地を組み、受台を取り付けてください。



踏板、蹴込板、踊場の取付

- ・踏板的鼻の出裏側と蹴込板上面にはビスケット溝加工がされています。取付の際に加工溝へビスケットを差し込み、位置合わせにご使用ください。
- ・取付手順は、「上段框を先につけられている」「踊場を先につけられている」などで手順は変わりますが、ひな壇側の踏板と蹴込板の連続がきれいに見えるように気を付けながら施工をしてください。(図1)
- ・踏板蹴込板の固定方法は、踏板は図2のように踏板固定金具を一段につき3箇所固定します。
- ・蹴込板は、裏面より踏板と連結してください。ビスピッチは70mm以下程度です。踏板蹴込板が受台と接する面には、根太ボンド(現場調達)を塗布するとより強固な固定が出来ます。鼻の出0階段は、踏板と蹴込板を連続して固定しているため2~3段で受台との位置関係をご確認ください。部材の寸法公差により受台ときれいに密着しない場合もありますので、その場合は部材の寸法を調整し取り付けてください。

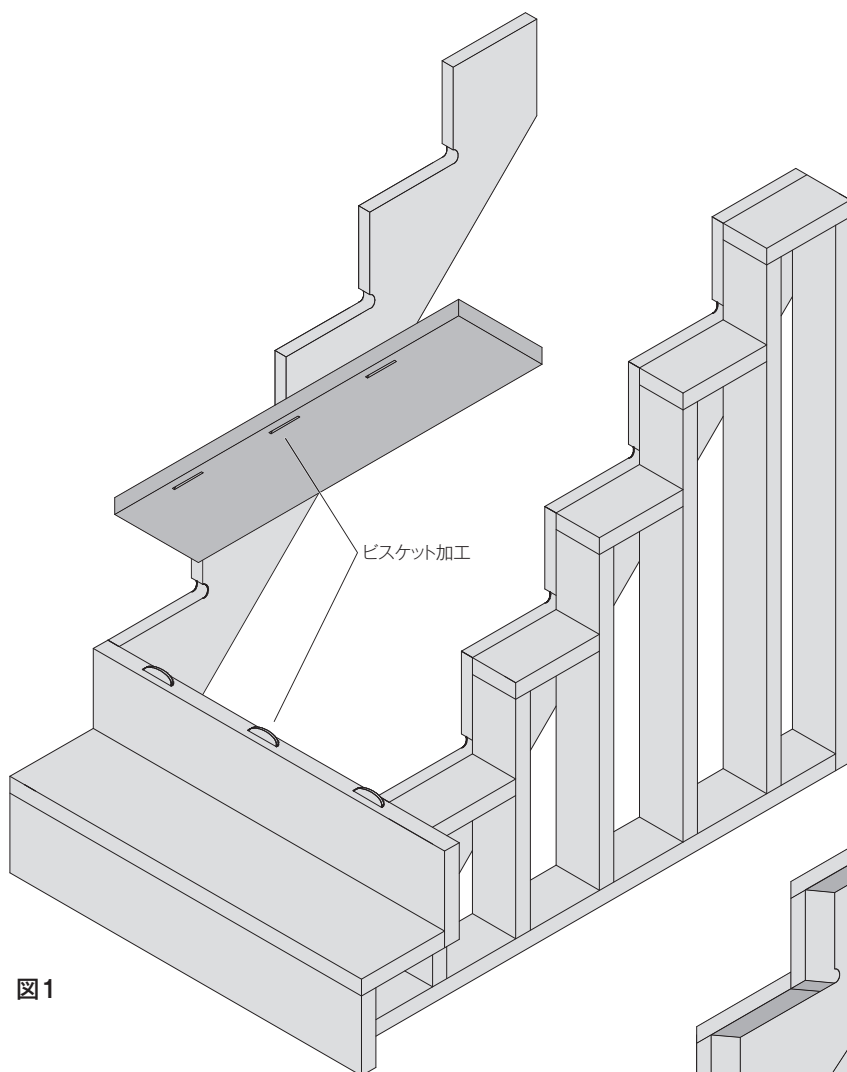


図1

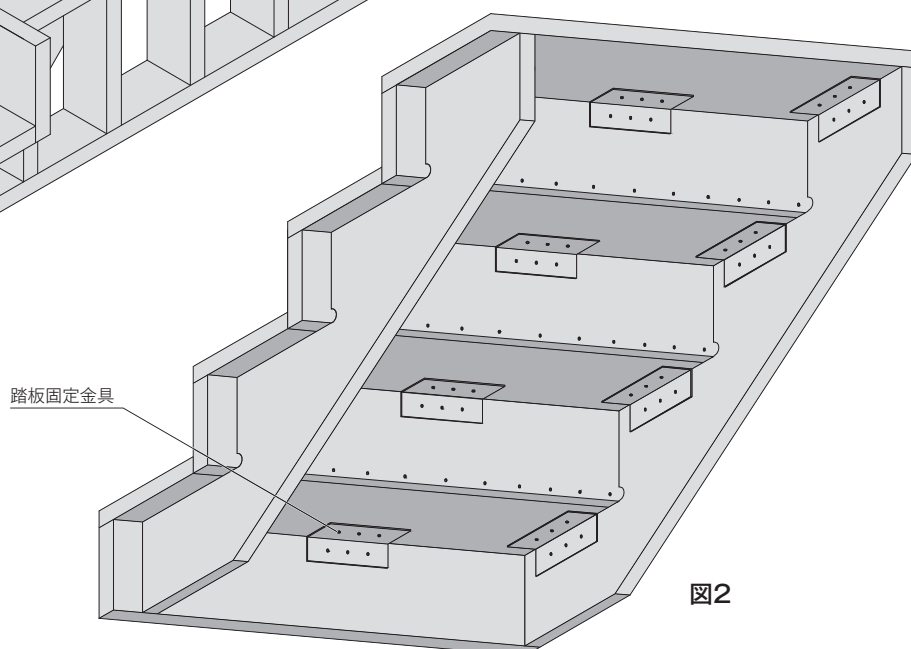
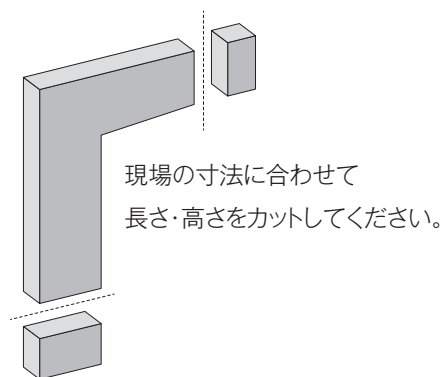
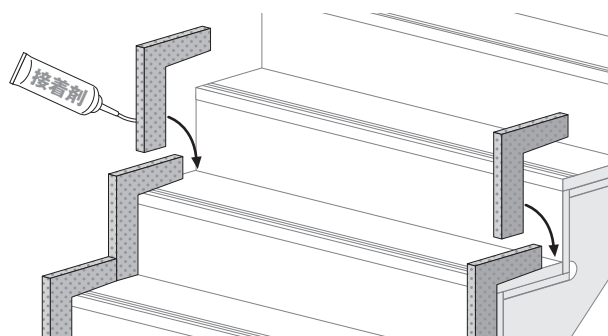


図2

プレカット巾木の取付



壁面にぴたりとつけ、接着剤で固定します。



- ※廻り踏板に取り付ける巾木は定尺サイズの巾木を現場加工願います。
- ※廻り部分にも使用できるプレカット巾木もございます。

施工終了後

養生の方法

- 施工後は木屑や砂・ゴミをきれいに取り除いて、ダンボール・ベニヤまたは養生カバー等で隙間なく養生してください。
- 市販のガムテープ等は粘着が強く、化粧単板および塗装のハガレの原因になりますので、別売の養生テープ(ZY0211)をご使用ください。
- 鼻の出裏面には養生テープを使用しないでください。

お手入れのしかた

- 階段が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を強く擦ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

使用説明書の手渡し

同梱の「使用説明書」を使用される方にお渡しください。使用される方が不在の場合は、施主様に依頼するか製品に貼り付ける等により必ず使用される方に届けられるようご配慮願います。

WOODONE